

氏名： 物流 太郎
 電話番号： 03-1234-5678（内線 1234）、03-8765-4321（直通）
 E-mail： ○○（アット）○○.co.jp

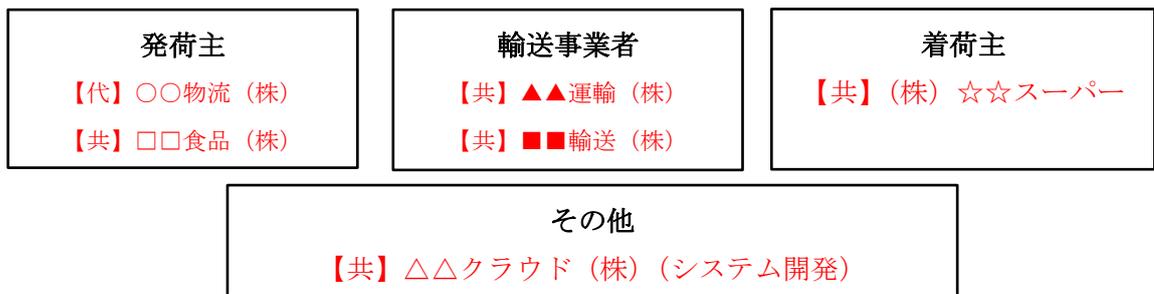
- 事業実施責任者を複数記載する場合は、主担当者がわかるように明記すること。
- 主担当者は、実施計画書に係る PCKK からの指示に対する一元的窓口を担うものであり、事業全般の内容について統括的対応が可能である者とする。

2-2. 共同申請者の概要

	事業者名称	事業実施責任者			
		氏名	役職	電話番号	E-mail アドレス
共同 申請 者	□□食品（株）	○○○○	○○	○○○○	○○○○
	▲▲運輸（株）	○○○○	○○	○○○○	○○○○
	■●輸送（株）	○○○○	○○	○○○○	○○○○
	（株）☆☆スーパー	○○○○	○○	○○○○	○○○○
	△△クラウド（株）	○○○○	○○	○○○○	○○○○

- 本事業により、共通システムで連携し、機器を導入及び実証を行う共同申請者をすべて記載すること。

2-3. 事業体制図



- 本事業の実施体制や申請者間の関係が分かるように記載すること。

5. 実施スケジュール

5-1. システム・機器等導入スケジュール

項目	補助対象	概要	R 7年度	R 8年度	備考
システム 詳細設計	○	〇〇データ共通システム開発詳細設計	→		
システム 稼働	—	〇〇データ共通システム稼働	→	→	
機器の製 造・発注	○ ○ ○	AGV(無人搬送車) 予約受付システム 自動運転配送	→ → →		
検証	— —	検証運用 PCKKへ報告	→ →	→ →	

※ 費用内訳とスケジュールの対応がわかるように記載すること。

- 共通システムの構築、機器の導入及び充電・充填タイミング実証の時期とともに、補助対象経費に係る作業スケジュールの詳細をわかりやすく記載すること。

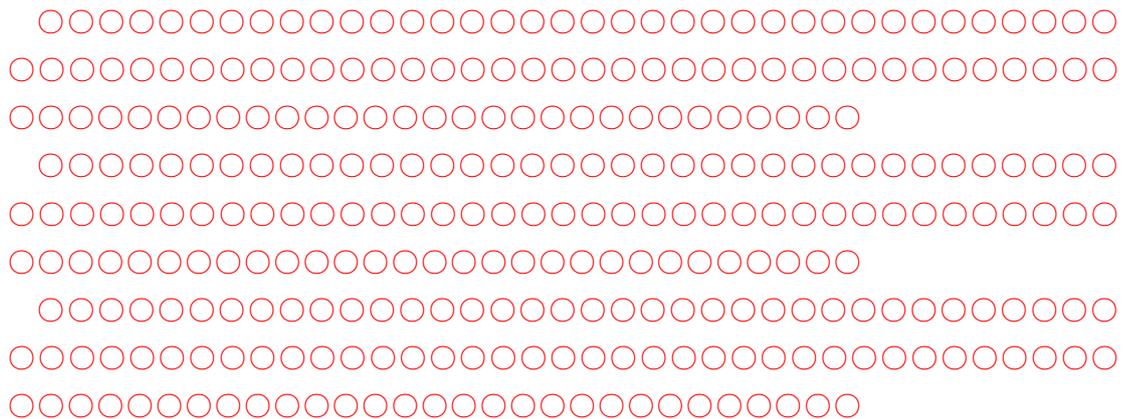
5-2. 補助対象システム・機器等の稼働開始時期・箇所および効果

補助対象システム・機器等	稼働開始時期	稼働箇所	想定省エネ効果(%表記)	その他想定される効果
〇〇データ共通システム	令和8年1月頃	□□食品、▲▲運輸、〇〇物流、■ ■輸送、☆☆スーパー	〇〇%	
AGV(無人搬送車)	令和8年7月頃	□□食品××工場の出荷バース	〇〇%	・荷役作業における省人化
予約受付システム	令和8年9月頃	〇〇物流**配送センター	〇〇%	
自動運転配送	令和8年9月頃	〇〇物流センターから☆☆スーパー××地区各店舗への配送	〇〇%	・ドライバー不足の解消

(参考) その他想定される効果

効果分類	導入機器 (例)	具体的な効果 (例)
①コスト削減	・ AGV	・ 倉庫作業員を 4 人工から 1 人工に削減
②地域貢献度	・ 充電インフラ整備による非化石エネルギー転換	・ CO2 排出量の削減、静粛性向上 ・ 自治体との災害時協定の締結
③産業競争力向上	・ 充電インフラ整備による非化石エネルギー転換	・ 荷主企業の CSR 対策 ・ Scope3 排出量削減による国際競争力の強化
④労働環境改善	・ 入荷業務自動化機器	・ 作業員の負担軽減と勤務時間短縮

(数値の算出過程)



6-4. エネルギー消費削減率 (%)

6-3 で算出した事業実施前後における原単位あたりのエネルギー消費量を用い、事業実施によるエネルギー消費削減率を算出します。

____ 〇〇 ____ %

記載するエネルギーは、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則（昭和五十四年通商産業省令第七十四号）第四条（換算の方法）および別表第1（第四条関係）におけるエネルギー換算係数を使用し算出すること。

(https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=354M50000400074_20240401_506M60000400014)

※参考

6-4の計算過程をまとめて示すための計算表の例を以下に示す。

原単位分母は輸送フェーズにおける省エネ効果に寄与する項目毎に異なるため、下表ではまず、各項目における原単位改善率を算出する。その後、各項目の補助事業実施後のエネルギー使用量と原単位改善率を用いて、取組全体でのエネルギー消費削減率を算出している。(他の計算方法を使用する場合、表等を活用し詳細かつわかりやすい算出過程を示すこと。)

項目	補助事業後の 原単位	補助事業前の 原単位	原単位 改善率 (%)	補助事業実施後の エネルギー使用量 (1ヶ月あたり)	補助事業実施後の 省エネ量 (1ヶ月あたり)
庫内作業 (庫内の消費エネルギー/移動させた荷 物量)	〇〇 MJ/t	〇〇 MJ/t	A1	a2	a3
輸送 (輸送エネルギー/ 貨物量×距離)	〇〇 MJ/t・km	〇〇 MJ/t・km	B1	b2	b3
荷待ち時間 (配送毎の荷待ち時 間における使用エネ ルギー)	〇〇 kJ/回	〇〇 kJ/回	C1	c2	c3
〇〇	〇〇 MJ/××	〇〇 MJ/××	D1	d2	d3
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・		・ ・ ・	
エネルギー削減率 (%)	$E1 = 1 - \frac{(1-A1) a2 + (1-B1) b2 + (1-C1) c2 + (1-D1) d2 \dots}{a2 + b2 + c2 + d2 + \dots}$				

(備考)

上記計算は〇〇という考え方で、

- 原単位改善率（表中 A1～D1）の算出例：

$$\text{原単位改善率} = 1 - (\text{補助事業実施後の原単位} / \text{補助事業実施前の原単位})$$
- 他の計算方法を使用する場合には、詳細かつわかりやすい算出過程を示すこと。

6-5. 投資回収年

事業実施に掛かる補助対象経費とエネルギー消費削減量より、投資回収年を算出します。

_____年

(数値の算出過程)

※投資回収年(年) = $\frac{\text{全事業期間における補助対象経費総額(円)}}{((\text{トラック1台あたりの事業実施前のエネルギーコスト(円/年)} - \text{トラック1台あたりの事業実施後のエネルギーコスト(円/年)}) \times \text{事業終了後に本事業成果の導入が想定されるトラック車両台数(共同申請者以外の事業者においても導入見込みがある場合にあつては車両台数にカウントを行うこと))}$

※投資回収年の算出には「投資回収年算出ツール」を用いること。

- トラック車両台数の計上方法について留意すること(本実証に参加したトラックの台数ではない)
- なお、投資回収年については事業予算の効率性の評価において相当程度考慮される。

6-6. 補助事業実施におけるその他効率化等の改善効果

- 補助事業を実施したことにより、6-2~6-4に記載した輸送効率化以外で「〇〇をなくすことができたことによる省エネ効果」等を記載すること。
- 補助対象機器及びシステムの定量的効果以外の省人化や物流生産性向上等の定性的な効果、加えて、補助対象機器及びシステム以外の機器導入による定量的・定性的効果についての記載も可能とする。
- 輸送効率化にも資する効果であり、6-4に例示する表中の原単位改善率(A1~D1)における効果と被らないようにすること。

パターン1: 補助対象機器以外の導入により、省エネ効果が見込まれる場合

具体例: 共通システムとの関係をしていないパレタイズロボットにより、パレットへの積み付け時間が削減。それによる荷待ち時間の削減が見込まれる場合。

6-6-1. パレタイズロボット導入によるエネルギー消費量の改善

〇〇食品の工場内にて、パレタイズロボットを導入。共通システムとの関係をしないため補助対象外となるが、当該機器の導入により積み付け時間の〇%削減が可能。それにより荷待ち時間の〇%減少が見込まれ、エネルギー消費量の改善が見込まれる。

6-6-1-1. パレタイズロボット導入箇所におけるエネルギー消費原単位(実施前)

数値: 〇〇 単位: 〇〇

(数値の算出過程)

8. 実施体制

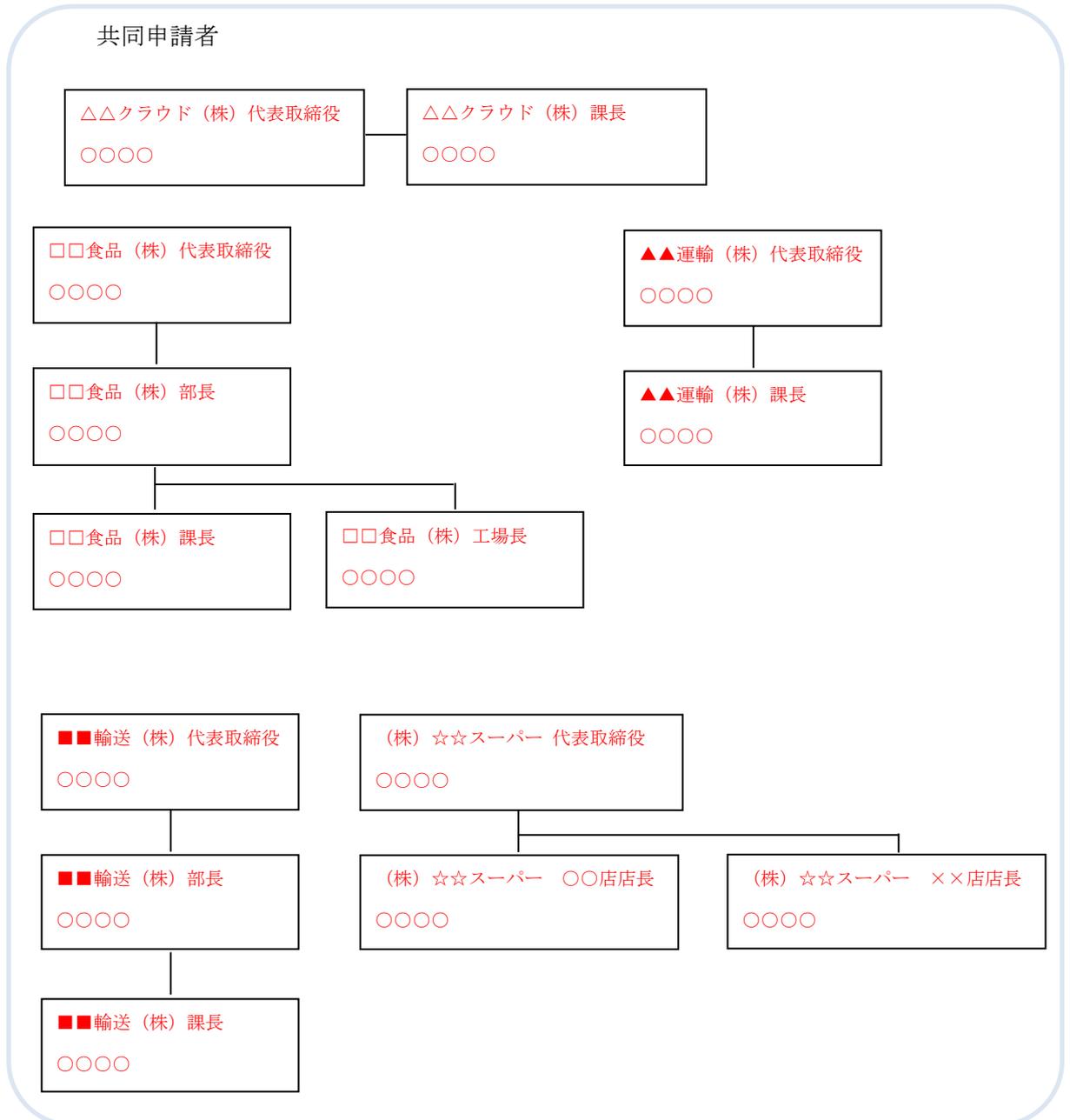
8-1. 実施体制図

- 全共同申請者の体制を記載すること。
- 共同申請の場合、申請者間の関係がわかるように記載すること。
- 複雑になることが想定される場合は別紙参照でも可。

代表申請者



共同申請者



添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費、補助金申請額の内訳（7-2 関係）

補助事業名：〇〇による〇〇〇〇〇〇〇省エネ実証事業

補助事業者名：事業全体（事業全体の資料に加えて申請事業者毎の内訳資料を作成）

区分		R 7年度	R 8年度	小計（円）	備考	
補助対象経費	共通システム事業費	小計 （）内は補助金申請額 40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	50,000,000 (20,000,000)		
		〇〇データ共通システム （）内は補助金申請額 40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	50,000,000 (20,000,000)		
	サプライチェーン輸送効率化機器事業費	小計 （）内は補助金申請額 50,000,000 (25,000,000)	22,000,000	72,000,000 (25,000,000)		
		AGV（無人搬送車） （）内は補助金申請額 20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	30,000,000 (10,000,000)		
		トラック予約受付システム （）内は補助金申請額 10,000,000 (5,000,000)	2,000,000	12,000,000 (5,000,000)		
		自動運転配送システム （）内は補助金申請額 20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	30,000,000 (10,000,000)		
	充電・充填タイミング最適化実証事業費	小計 （）内は補助金申請額 — ()	—	— ()		
		（）内は補助金申請額 — ()	—	— ()		
	小計（円）		90,000,000 (45,000,000)	32,000,000	122,000,000 (45,000,000)	
	補助対象外経費		10,000,000	5,000,000	15,000,000	
消費税（円）		10,000,000	3,700,000	13,700,000		
合計（円）（補助事業に要する経費）		110,000,000	40,700,000	150,700,000		

補助事業者名：〇〇物流株式会社

区分		R 7年度	R 8年度	小計 (円)	備考
補助対象経費	小計 () 内は補助金申請額	40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	50,000,000 (20,000,000)	
	共通システム事業費 〇〇データ共通システム () 内は補助金申請額	40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	50,000,000 (20,000,000)	
	小計 () 内は補助金申請額	40,000,000 (20,000,000)	20,000,000	60,000,000 (20,000,000)	
	サプライチェーン輸送効率化機器事業費 AGV (無人搬送車) () 内は補助金申請額	20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	30,000,000 (10,000,000)	
	自動運転配送システム () 内は補助金申請額	20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	30,000,000 (10,000,000)	
	() 内は補助金申請額	— ()	—	— ()	
	充電・充填タイミング最適化実証事業費 小計 () 内は補助金申請額	— ()	—	— ()	
	() 内は補助金申請額	— ()	—	— ()	
	小計 (円)	80,000,000 (40,000,000)	30,000,000	110,000,000 (40,000,000)	
	補助対象外経費	5,000,000	5,000,000	10,000,000	
消費税 (円)	8,500,000	3,500,000	12,000,000		
合計 (円) (補助事業に要する経費)	93,500,000	38,500,000	132,000,000		

補助事業者名：□□食品株式会社

- 以下、同様に全共同申請者についても記載すること。

